



## 釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

# インフォメーション



当ふれあいセンターは国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組むNPO等の活動支援や森林環境教育等のフィールドの提供、技術指導などを行っています。

### 「森林環境教育 インフォメーション」リニューアルします。

これまでの1年間「森林環境教育 インフォメーション」として、当センターの森林環境教育に関する活動内容をお知らせしてきましたが、発行から1年を経て、自然再生についての取組も含めたセンター全体の活動内容についてお知らせする広報誌「インフォメーション」としてリニューアルすることとなりました。これからもよろしくお願いいたします。

## 森林環境教育

### 「森林ふれあい講座」パイロットフォレストで実施



炭焼き体験

8月3日(木)に標茶町と厚岸町にまたがる国有林のパイロットフォレストで、当ふれあいセンターの初の試みとして、地球温暖化防止など森林が果たす役割を教える先生たちを対象に支庁管内の各小中学校に募集をかけたところ7名の参加申し込みがあり、「森林ふれあい講座」を実施しました。



除伐体験



望楼から望むカラマツ林と別寒辺牛湿原

屋内で森林の役割や、身近な樹木について講義、その後、除伐やドラム缶炭窯で炭焼きの体験。パイロットフォレスト内にある遊歩道を探索して高さ25mの望楼からカラマツの一大造林地を見学しました。



望楼



遊歩道探索



# 出前森林教室

小中学校等の要望をうけて出前の森林教室を実施しています。



ポケットガイド(低学年)を使った森林教室



ポケットガイド(高学年)を使った森林教室

## 光陽小学校(3年生)

釧路市立光陽小学校の要請を受け3年生2クラスで実施しました。

3回の出前教室を予定し、1回目、2回目が終了して、11月中に3回目の準備をしています。

### ◎1回目(樹木の名前、森林の役割)

教室でパワーポイントで森林の話、校庭内にある樹木の特徴と名前、その後、実際に校庭で樹木にふれて、葉を観察しながら名前をおぼえてもらいました。

### ◎2回目(樹木の名前)

1回目の教室で覚えた樹木の名前の確認をしながら班にわかれてそれぞれの樹木の樹名板の作製。

### ◎3回目(樹木の炭素の固定)

名前を覚えた樹木を器械を使い木の高さ、太さ(胸高直径)を測定します。

校庭にどれだけの樹木があり、二酸化炭素を固定しているか調べます。



## 知方学小学校(全校)

釧路町立知方学小学校の要請を受け全校を対象として実施しました。

知方学小学校は昨年から全校児童を対象に低学年(1～4年生)高学年(5～6年生)にわけて実施しました。

### ◎低学年(1～4年生)

パワーポイントを使用して身近な樹木の名前、森林の役割について実施、その後、学校周辺の樹木について樹皮と葉の観察をしながら名前をおぼえてもらいました。

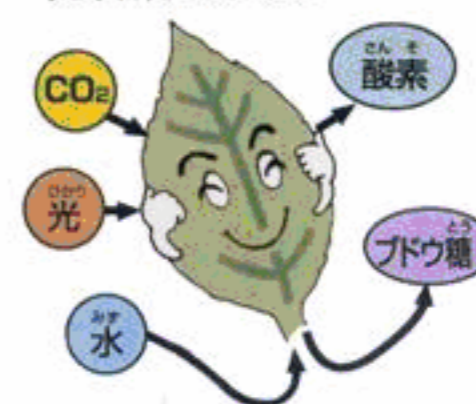
### ◎高学年(5～6年生)

ポケットガイドを使って、光合成・地球温暖化等の話をして、その後、学校周辺で、樹木の高さ(樹高)太さ(胸高直径)の測定をして材積を出したり、樹木の名前をおぼえてもらいました。



パワーポイントを使った森林教室

光合成のしくみ



紙芝居を使った森林教室

## 釧路市立朝陽小学校(1年生)

釧路市立朝陽小学校の要請を受け1年生を対象に実施しました。

紙芝居を使い、森林の大切さ、ポケットガイド(低学年)で樹木の特徴と名前について勉強、その後、校庭にある樹木の樹皮と葉を虫メガネで観察しながら名前をおぼえてもらいました。





# 自然再生事業

ふれあいセンターでは、主な活動区域である釧路湿原上流域の雷別地区国有林(標茶町)で、高林齢のトドマツが立ち枯れて疎林となった箇所を対象に、生物多様性に配慮しながら郷土樹種により森林を再生する自然再生事業を実施しています。その実施内容について紹介します。

## 自然再生事業予定地を学校生徒が見学

## —中茶安別小中学校—

自然再生事業に地元(標茶町)の中茶安別小中学校に参加を働きかけ、被害跡地の様子を見てもらいました。

学校林活動の日にあわせ、学校林での活動後、雷別地区国有林に移動し、トドマツ人工林の立ち枯れ跡地を見てもらいましたが、学校林にも同じころ植栽されたトドマツやカラマツがあることから、子供達にとっては被害を受ける前の森林と被害を受けた後の森林の比較がしやすかったのではないかと思います。

更に、近くにある広葉樹の天然林を見学してもらい、これから再生する森林のイメージを持ってもらいました。

今後、自然再生活動にどのように関わりをもってもらおうのか学校と検討する必要がありますが、子供達に現場を見てもらったということで活動の第一歩を踏み出すことができたと感じています。



自然再生事業地見学

## 自然再生事業の学習会と植樹体験の開催(一般公募)

自然再生事業の取組について一般の方々にPRするために学習会と植樹体験を実施しました。

参加者(一般公募)に、事業の概要の説明と雷別地区の自然再生は苗木の育成から植栽後のモニタリング調査まで一般の皆さんにも参加して頂きながら実施したいことを説明した後で、実際にミズナラ等の広葉樹を約300本植栽してもらいました。

植栽場所は、樹種毎に3本ずつ寄せ植えしたり、鹿被害がどの程度あるか調査するための防鹿柵内外で行うなど普段とは一味違った体験してもらいました。

また、昼食後は、事業地周辺にある

広葉樹の森林の中をゆっくり散策してもらい、これから再生する森林のイメージをふくらませてもらいました。黄葉した広葉樹林の中で、「リスとドングリ」、「森林のしくみ」「カシワとミズナラ」などの話を交えながら、環境に対する森林の役割の大切さを再認識してもらい、今後、この活動に継続して参加してもらえるようお願いして終了しました。



植樹方法の説明



広葉樹植樹



森林探索(広葉樹)



# 活動区域内国有林の紹介



ご意見ご要望がございましたら下記までお知らせ下さい。



北海道森林管理局 指導普及課  
釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター  
〒085-0825  
釧路市千歳町6-11(根釧西部森林管理署内)  
TEL 0154-44-0533  
Fax 0154-41-7305  
URL: [http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/fc/kushiro\\_hp/](http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/fc/kushiro_hp/)  
E-mail: [h\\_kushiro\\_f@rinya.maff.go.jp](mailto:h_kushiro_f@rinya.maff.go.jp)